

平成 28 年度 第 1 回 介護・医療連携推進会議 記録

● 事業所情報

法人名	株式会社エイプレイス
事業所	エイプレイス新宿

● 開催日時・場所

日時	平成 28 年 4 月 28 日（木） 14：30～15：30
場所	エイプレイス新宿 会議室

● 参加者（順不同）

NO	所属（役職）	氏名
1	白十字訪問看護ステーション 所長	A様
2	白十字訪問看護ステーション ケアマネージャー	B様
3	なでしこ園 管理者	C様
4	モチギケアサービス新宿 サービス提供責任者	D様
5	健康づくり課 在宅医療支援係 新宿区訪問看護ステーション	E様
6	株式会社エイプレイス 介護事業部部長	市川佳也
7	ホームネット株式会社 地域包括ケア推進事業部サポート課係長	玉本龍介
8	エイプレイス新宿 管理者	植木富生
9	エイプレイス新宿 計画作成責任者	斎藤てい子
10	エイプレイス新宿 計画作成責任者	和田篤昌

● 議事

NO	議事内容
1	チーム型定期巡回について
2	チームメイトからのご意見
3	参加者からの質問・ご意見

● 記録

議事 1	チーム型定期巡回について
	<p>前回の会議から「チーム型定期巡回」がどのように進展したかを説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●H28年1月～H28年4月にかけて「協力契約」をしてくれた事業所が9か所 ●日中（8時～18時）総サービス時間のうち、およそ42%をチームメイトへ配分することができている。 <p>空いた時間を利用し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎アドバイザー業務 <ul style="list-style-type: none"> →チームメイトのサービスに同行し、ケア内容やタブレット操作を説明 ◎新規利用者対応 <ul style="list-style-type: none"> →新規利用者様にチームメイトが安心してサービス提供する事ができるよう、手順書等の充実、利用者様宅環境整備等を行っている <ul style="list-style-type: none"> ●チーム型定期巡回が進展した結果 <ul style="list-style-type: none"> ◎人材不足の解消。 ◎訪問介護から定期巡回へ移行しても同じヘルパーが訪問することができる（協力契約により）。 ◎無理のない（稼働に無駄な時間がかからない）サービス提供ができるようになった。 ●今後の目標 <ul style="list-style-type: none"> ◎次回の会議までに利用者目標20名以上。 ◎自社担当割合40～50%維持。 ◎アドバイザーとして100%バックアップ体制を整える。 <ul style="list-style-type: none"> →急な随時対応や調整ミスにより、同行が抜けてしまうことが起こってしまった。 また、各アドバイザーによりアドバイスの仕方や伝え方に差が生まれ、チームメイトの混乱を招いてしまった。アドバイザー技術の底上げを図っていく。 ◎外部研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> →6月よりエイプレイス新宿事業所が高田馬場へ移転。新しい事業所に電動ベッドを用意している。短時間での身体介助の方法等、外部研修としての位置づけで提案していく。

議事 2	チーム型の問題点
	<p>◆実際チームとしてご協力くださっているモテギケアサービス新宿のD様よりご意見をいただきました。</p> <p>◎ケアとケアの間に定期巡回サービスを組込めるので、移動時間に無駄がなくなった。</p> <p>◎身体介助が多く、便失禁等があった場合、時間内でサービスを終了するのが難しく、焦ってしまうヘルパーがいた。</p> <p>◎タブレットの設置場所によって利用者様がコンセントを抜いてしまい、実際サービスに入る時に電源がつかなかったケースがあった。</p> <p>◎タブレットの機種が途中で新しくなった。使い方はほぼ同じだが、ボタンの形状等が違うだけで混乱するスタッフがいた。</p> <p>◎利用者様の細かい状態変化を、モテギとエイプレイス間で情報共有がうまくいっていないと感じる。タブレット操作し、一番初めの画面にそういった情報が出てくるとありがたい。</p> <p>◎スタッフにより、介護技術に差がある。介護技術の研修をしてくれるとありがたい。</p>
議事 3	参加者からのご意見・ご質問
	<p>●ケアの時間より、タブレット操作に時間がかかってしまっているという意見があった。 →アドバイザーのフォローを強化する。</p> <p>●医療との関わりをもっと教えて欲しい。医療と連携することでどんな利用者様が定期巡回に該当するのか教えてほしい。 →次回の会議でお伝えできるように準備する。</p> <p>●アドバイザーによって指導方法が違うことがある。 →アドバイザー技術の底上げを図り、統一したアドバイスができるようにする。</p>

●協力先（チーム）はどのように増やしたのか。

→もともと訪問介護で利用されていた方が定期巡回へ移行。その際にチーム型の説明をして契約した事業所や、チームメイトからの紹介等で増えた。

●どこの訪問看護・訪問介護と提携しているのか教えて欲しい。

→会議中にお伝えした。

●定期巡回のデメリット（大変なこと）は？

・看護師のアセスメントが必要な為、訪問看護事業所との連携契約が必要だが、事業所により連携してくださらず、サービスが開始できない事があった。また、訪問介護との併用利用が出来ない。訪問介護を利用されていた方が定期巡回を利用することになると、事業所がかわり、馴染みのヘルパーではなくなってしまっていた。

→エイプレイスでは訪看・訪問介護それぞれ 9 事業所との連携・協力契約をしている為、現在はそういった問題も改善されてきた。

・定期巡回で介護保険の訪問看護を利用される場合、単位数が少なく、事業所にとってマイナスになってしまう

→介護と医療処置をきちんと分担してケアに入ることで、訪問看護サービスも効率よく短時間で実施することが可能。看護サービスの報酬を上げるよう看護師協会が厚労省に提案を行っているようである。

●白十字CM B氏→モテギD氏へ質問

実際チームとして定期巡回サービスを行うメリットは？

→ケアとケアの合間に定期巡回サービスを組込む事で、無駄な時間を無くすることができる。また、訪問介護サービスは生活援助が多く、定期巡回は身体介助がほとんどなので、とても勉強になる。職員の介護技術の向上に役立つ。

会議で上がったご意見・ご提案を参考にし、次回の会議で

- チーム型定期巡回の進捗状況
- チームメイトとの情報共有方法
- アドバイザー業務の改善点
- 外部研修の実施状況

を発表予定。

次回 介護・医療連携推進会議 日にち 平成28年7月28日(木) 時間 14:30~16:00 場所 未定(6月に事業所移転がある為)
--

議事録作成	和田 篤昌
-------	-------

以上